

# 双葉便り 第3号



春日部市立看護専門学校

住所；〒344-0061 春日部市粕壁 6686

電話；048 (763) 4311 FAX；048 (763) 4933

令和2年10月1日

## 副学校長挨拶

日ごろより、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、本当にありがとうございます。寒暖の差が激しくなりました。体調にはくれぐれも気をつけて頑張りましょう。

今年度は、新型コロナウイルス対策のため、講義・実習・学校行事が例年通りとはいかず、本当に難しい学校運営となりました。そのような中、1年生は12月の基礎看護学実習Ⅰにむけて、2年生は9月に基礎看護学実習Ⅱを終えて、3年生は各看護学実習の真只中で、今、どのように自分と、そして看護と、向き合っているのでしょうか。

たとえ、臨地での実習ができなくても、たとえ対面での講義が減ってしまっても、たとえ例年通りの学校行事ができなくても、すべての学校生活に意味を見出し、自分自身を律し、看護と向き合ってもらいたいと思います。後悔しないよう、お互い、一日一日を大切に精一杯過ごしていきましょう。

## 1. 本校の学生の就職活動と就職状況

年々、早期化する就職活動に対し、本校では、2年次に進路ガイダンスの実施や3年次に就職試験対策講座(履歴書・面接対策)を行っています。

本校の教育理念は「埼玉県東部地域住民の健康と福祉に寄与する看護実践者の育成」です。学生の皆さんには、卒業後、地域に貢献する看護師になっていただきたいと考えています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、病院見学やインターンシップの中止・延期に伴い、就職試験も例年より遅くなった病院がありました。そのような中、現在、就職希望の3年生ほぼ全員が、春日部市立医療センターをはじめ就職希望病院の内定を頂くことができました。ただし、この内定も看護師国家試験の合格が必須条件となります。3年生は気を引き締めて、努力を継続していきましょう。また、進学希望(保健師・助産師学校等)の学生もおります。夢が叶えられるよう、頑張りましょう。

そして、1・2年生は近い将来に向けて、自分の理想とする看護師像に近づくために、真剣に自分の進路について考えていきましょう。



## 2. 教育実習生のご紹介(①自己紹介 ②本校・学生の印象 ③ひと言)

本校では、人間総合科学大学および埼玉県の見護教員養成コースの教育実習生を受け入れています。今年度は、人間総合科学大学の教育実習生を1名お迎えしました。主に、実習では2年生の基礎看護学実習Ⅱ、講義では同じく2年生の母性看護学方法論Ⅱを担当してもらいます。自己紹介と、本校での教育活動を通して感じられたこととお聞きしてみました。10月19日までの教育実習となります。どうかよろしくお願ひします。

- ①助産師として15年間、臨床で勤務後、教員となり3年目になります。現在は助産学科の教員をしながら、人間総合科学大学の看護教員養成コースを履修しています。プライベートでは4歳の女の子と7歳の男の子の子育て中です。助産学科教員としての仕事、教員養成コースの学生、2人の子どもの母親として毎日忙しく過ごしています。
- ②今、勤務している助産学科に、こちらの学校の卒業生がいます。その学生は礼儀正しく学習に関してもよく努力をしています。そんな学生が卒業した学校なので、良い学校なのだろうなと思い教育実習に来ました。実際に来てみると、学生の皆さんはきちんと挨拶ができて、講義や演習、そして実習に、どの学生も一生懸命取り組んでいると思います。また、学校内の掃除が行き届いていて、生活面もきちんとしている印象を受けました。先生方もとても優しいです。
- ③新型コロナウイルス感染症の影響で、学生の皆さんも先生方も様々な変更を余儀なくされている時期に、教育実習を受け入れていただき、心から感謝しています。こんな時期だからこそ、学生の皆さんには、主体性をもって臨機応変に対応できる看護師を目指してもらいたいです。一緒に頑張りましょう ❤️



## 2. 今後の学校行事予定

- |            |  |
|------------|--|
| 10月 6日(火)  | 解剖見学；日本大学板橋病院 (AM1年生・PM2年生)<br>※当初の年間計画から、日程変更しています。 |
| 10月 24日(土) | 推薦・社会人入試   |
| 11月 7日(土)  | 双葉祭 (全学年)  |
| 11月 9日(月)  | 代休(全学年)  |
| 11月 15日(日) | 災害時医療救護訓練(1年生) ⇒中止となりました                             |
| 12月 14～18日 | 基礎看護学実習Ⅰ(1年生)  |
| 12月 25日(金) | 終業式  |

※次回は12月に第4号を発刊予定です。